

日英教育研究フォーラム／日英教育学会 研究大会の歩み

結成記念大会 シンポジウム	1992年7月28日 1980年代の教育改革	早稲田大学国際会議場
第2回大会 シンポジウム	1993年7月26日・27日 教育史研究の現在	中央大学駿河台記念館
第3回大会 シンポジウム ゲスト スティーブン・ボール (ロンドン、キングス・カレッジ)	1994年8月27日・28日 教育社会学の現在	国立教育研究所
第4回大会 シンポジウム ゲスト ジョン・ミッチェル (スコットランド視学官)	1995年8月23日・24日 職業資格問題	早稲田大学国際会議場
第5回大会 シンポジウム ゲスト リチャード・オールドリッチ (ロンドン大学大学院教育学研究科)	1996年8月31日・9月1日 教師教育の動向と課題	立命館大学末川記念館
第6回大会 シンポジウム ゲスト ゲリー・マカロック (シェフィールド大学)	1997年8月26日・27日 1980年代教育改革の意義	早稲田大学教育学部
第7回大会 シンポジウム ゲスト ピーター・ギルロイ (シェフィールド大学)/ 清水 潔 (文部省高等教育局)	1998年9月17日・18日 教師教育の将来	早稲田大学国際会議場
第8回大会 シンポジウム	1999年9月6日・7日 高等教育改革に関する日英比較	京都大学楽友会館

ゲスト ロナルド・バーネット (ロンドン大学院大学教育学研究科)

第9回大会 2000年9月30日・10月1日 早稲田大学国際会議場

シンポジウム 21世紀の学校教育とカリキュラムの構造

ゲスト マイケル・F・ヤング (ロンドン大学院大学教育学研究科)

第10回大会 2001年9月29日・9月30日 早稲田大学

シンポジウム 教育とセクシュアリティ

ゲスト ダイアン・レナード (ロンドン大学院大学教育学研究科)

マイケル・ライス (ロンドン大学院大学教育学研究科)

第11回大会 2002年9月29日・30日 早稲田大学

シンポジウム イスラームと学校・教育

ゲスト ジェフリー・ウォルフオード (オックスフォード大学グリーンカレッジ)

第12回大会 2003年7月20日・21日 京都女子大学

シンポジウム 英国の教育界における<公私>関係の現状とその示唆するもの

ゲスト ヴィヴィアン・アンソニー (前全国校長会事務局長)

*この年から日英教育学会と改称

第13回大会 2003年7月26日・27日 東京都立大学

シンポジウム 「第三の道」として?のニュー・レイバーの教育政策

ゲスト シャロン・ゲワーツ (ロンドン大学キングス・カレッジ)

近藤康史 (筑波大学)

日英教育研究フォーラム投稿規程

- 1) 投稿受付は随時とするが、最終締切は毎年3月31日とする。
- 2) 投稿資格は日英教育学会の会員であること。
- 3) 論文の形式は自由であるが、表紙にタイトルと氏名を明記すること。本文は註を含め、400字詰め原稿用紙50枚以下とする。英文の場合は5000words程度とする。本文のほかに英文要約(500 words以内)を提出すること。なお、打ち出し原稿3部のほか、フロッピー(テキストファイル)またはEメールで提出する。論文は未発表のものに限る(口頭発表はその限りではない)。
- 4) 事務局は投稿論文を受け取り後、すみやかに3名から構成される審査委員会(うち委員長としての運営委員1名以上を含む)を設置し、論文の審査を依頼する。
- 5) 投稿論文は一切返却しない。
- 6) 審査委員会は提出された論文に対して修正を求めることができる。
- 7) 審査委員会の構成および審査過程、審査結果は公表しない。
- 8) 採用論文は日英教育研究フォーラムに掲載される。

論文提出先

〒192-0397 八王子市南大沢1-1 東京都立大学人文学部 大田直子研究室気付
日英教育研究フォーラム編集委員会